

**【NEWS RELEASE】**

2022年4月28日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社ノースオブジェクトに「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社ノースオブジェクト（代表取締役：南大助）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社ノースオブジェクトについては、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① オーガニックコットンや再生ポリエステルを使用した商品の製造・販売による環境負荷低減への貢献

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組に従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。
	12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発および自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

- ② 次世代に繋がる住宅地域の再生を図る「Morineki プロジェクト」への参画を通じた、住みやすい地域づくりや持続的なライフスタイルの普及

目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.3 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。
目標 4 質の高い教育を みんなに	4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育および持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和および非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、すべての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識および技能を習得できるようにする。

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



自社ブランドLILASIC（リラシク）が展開する、表がオーガニックコットン、裏がリサイクルポリエステルのカットソー素材を使用した商品。



本社と同じ施設内で、レストラン、ベーカリー、食堂、アパレル雑貨ショップ、ワークショップスペース、ケーキや焼菓子を製造する工房を併設し運営している。



本社を大東市に移転し、子育てや家事に忙しいママたちが「ほっ」とできるようなコミュニティづくりを目指しています。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。